

(別紙1)

従業員向け

放課後等デイサービス評価表

○ 本評価表は、放課後等デイサービスに従事する従業員の方に、事業所の自己評価していただくものです。

「はい」又は「いいえ」のどちらかに○を記入するとともに、従業員の視点で、「事業所が工夫していると思う点」や「改善が必要だと思われる点」などについて記入してください。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	0	天気の良い日には屋外での活動を多く取り入れています。パーティションの活用や、職員配置で死角が出ないようにしている。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5	0	特性を考慮し、利用調整や職員配置、配車を行っている。基準を満たす職員に加え、資格を有する職員を加配しています。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	0	スケジュールの呈示や、カレンダー作成。食事・学習・自由活動など、場面に応じて空間を区分けし、わかりやすく構造化しています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	0	終業後に清掃・消毒を徹底し、快適な環境を維持しています。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	0	個室の要望は現状なし。スヌーズレンを個別に使いたいという希望はあるため、気持ちを確し、時間など提案しながら、提供が必要があると考えている。スヌーズレンルームや前庭を開放し、必要なときは職員がそばで見守り、安全に気をつけて使っています。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5	0	文書の確認と、発言により、全員参加で行っている。朝礼・終業時などに職員が業務改善の振り返りに参画しています。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0	保護者向け、事業所評価アンケートを実施し、保護者の意向などを事業運営、業務改善に繋げています。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0	申し送り時等に意見を把握し、業務改善に活かしています。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	3	第三者評価未実施です。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4	1	法人内の他の事業所と行うことにより、意見交換がより充実したものになっている。法人内の他事業所と合同で開催しています。
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5	0	湊明会HPとInstagramで公開しております。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5	0	普段の活動の様子を丁寧に観察しながら適切にアセスメントを行い、利用者のニーズに基づいて計画を作成しています。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5	0	全職員での会議で、モニタリングや計画作成の際に話し合っている。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4	1	標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントを十分に活用できていません。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	3	2	標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントを活用し切れておりません。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4	1	家族支援と移行支援が十分ではありません。

適切な支援の提供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	0	季節的なことや、5領域のバランスを考えて立案している。 職員一人ひとりがプログラムを立案し、共有した上で取り組んでいます。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5	0	積み重ねの必要な固定なものと、そうでないものを組み合わせて提供している。 職員一人ひとりがプログラムを十分に学び、子どもたちの様子をよく観察した上で企画・実施しています。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5	0	それぞれに目標を設定しチャレンジタイムの活動を提供している。 子どもの特性や活動内容を踏まえ、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援しています。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	0	同じ職員ばかりにならないようローテーションで対応している。 必ず打ち合わせを行い、予定や利用児童の情報、支援内容や役割分担を確認しています。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	0	支援終了後には職員間で必ず打ち合わせを行い、その日の支援の振り返りを行い、気付いた点などを共有しています。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5	0	日々の支援について記録を徹底し、事業運営システムに保存しています。 記録内容は職員間で共有し、申し送りや会議の場で検証することで、支援の改善につなげています。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5	0	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	5	0	『4つの基本活動』を踏まえ、複数の活動を組み合わせ支援を行っています。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5	0	視覚的な手がかりを使用し、できるだけ本人の意思を確認するようにしている。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5	0	保護者からの希望や、必要に応じて、児発管だけでなく、直接支援に携わる職員も担当者会議に参加したり、受診同行している。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	0	学校や相談支援事業所、医療機関と連携し、情報共有し支援体制を整えております。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5	0	学校や相談支援事業所と密に連携し、情報共有、連絡調整を図っております。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	3	2	直接のやり取りはないが、行政や相談員を介し、情報共有、連携している。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	4	1	法人内の事業所であれば、児童期のことを伝えたり、その後もイベントなどで交流する機会を設定している。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	4	1	研修会の参加や、必要に応じ訪問相談の機会を設定し、他からのアドバイスをきいている。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	3	2	ほか事業所との交流のみ行っている。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	4	1	参加しておりません。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5	0	面談、家族の迎えの短時間の会話、LINE、連絡帳、電話等で、共通理解を図れるよう努めております。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	1	1月に、保護者参加の餅つき大会を予定しております。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5	0	

保護者への説明等	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5	0	個別支援計画書、モニタリング時に、子どもや家族の意向を確認しております。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5	0	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5	0	面談、家族の迎えの短時間の会話、LINE、連絡帳、電話等で、相談に応じております。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	3	2	保護者参加可能なイベントを提供している。 父母の会や保護者会に相当するものがない。 父母の会を設けておりません。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5	0	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	5	0	法人HP,Instagramで情報発信をしております。LINE、連絡帳、電話等で連絡体制を整えております。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5	0	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5	0	保護者にはLINEや連絡帳を活用し、子どもには障害の特性に応じたコミュニケーションツールを使用しています。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5	0	避難訓練や行事等に協力して頂いております。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4	1	対応マニュアル等を策定し、これに従って対応しています。保護者には正面玄関に掲示していますが、周知が十分とは言えません。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5	0	対応マニュアル等を策定し、これに従って訓練しています。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	5	0	必要に応じ、服薬などの対応を医師と相談し、職員・家族、学校間で情報を共有しています。
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	2	3	現在対応必要な児童はいないが、毎年保護者にアレルギーの確認は行っている。 対象児童がない。 食物アレルギーのある子どもについて、家族の情報をもとに対応し職員で共有しています。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	0	安全計画を策定し、これに従って研修と訓練を実施しています。安全管理もなされております。
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	0	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5	0	該当事由が発生した場合、ヒヤリハット報告書を作成し、検討、周知を図っております。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5	0	講師の招聘やOJT等を通じて職員に研修機会を確保するなど、適切な対応を行っています。
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5	0	組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分説明して了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しています。